

2013年2月1日、軽米町立笹渡小学校(鎌田省三校長)はJRC活動※のひとつ「資源回収の収益金」をユニセフ募金として寄付くださいました。ユニセフから感謝状を贈呈。みんなで世界の子どもたちの状況やユニセフの支援について学びました。5・6年生は社会科の授業で龍泉洞の水で経口補水塩を作って飲んでみたり、水がめで水くみ体験にも挑戦し、「家の手伝いも大変だ」「募金を恵まれない子どもたちに届けたい」と話していました。※Junior Red Cross(青少年赤十字活動)



▲生徒に説明する藤原事務局長



▲体験した水瓶を持ち記念撮影

2013年2月5日、葛巻町立小屋瀬小学校(菊池育子校長)で、全校児童28名が視聴覚室に集まり、児童会の代表からユニセフ募金に寄付していただきました。感謝状を贈呈後、「ユニセフと地球のともだち」のDVDを見て、発展途上国の子どもたちの現状とユニセフの支援の状況を学びました。



▲募金の贈呈の様子



▲水がめで水くみ体験中の児童

2013年2月26日、紫波町立星山小学校(中里恵利子校長)ユニセフ集会で、今年度児童会で取りくんだユニセフ募金贈呈とユニセフの支援する「水と衛生」について学び、手洗い紙芝居を見たり全員で手洗いダンスをしました。



▲藤原綾子事務局長と工藤景子ボランティアスタッフ
＜問い合わせ先＞



▲手洗いダンスの様子